

令和6年7月末現在の特殊詐欺被害状況について

1 特殊詐欺認知・検挙の推移(過去10年)

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	7月末	R6年
	認知件数	2,311	1,879	2,032	3,510	4,185	3,815	2,896	3,319	3,218	2,918	1,625
検挙件数	1,072	1,111	1,103	1,388	1,786	2,123	2,274	2,368	2,410	2,539	1,524	1,179
検挙人員	728	733	552	593	869	814	693	733	803	665	420	354
被害金額	8,001,271,873	6,729,277,329	6,165,889,930	7,978,191,953	8,873,785,806	7,586,188,833	6,341,107,913	6,621,528,504	6,778,441,643	8,148,577,931	4,559,530,654	5,631,941,566

※ H30年からキャッシュカード詐欺盗を含む

※ [] 印は、最高値を示す

2 特殊詐欺全体の認知状況

(1) 類型別認知件数

	7月(単月)			7月末(累月)			
	件数	割合	前月比	件数	割合	前年比	増減率
オレオレ詐欺	137	47.2%	+52	599	32.8%	+144	+31.6%
預貯金詐欺	27	9.3%	-29	255	13.9%	-127	-33.2%
架空料金請求詐欺	35	12.1%	-3	260	14.2%	+4	+1.6%
(サポート詐欺)	(10)	(3.4%)	(+4)	(123)	(6.7%)	(-29)	(-19.1%)
還付金詐欺	62	21.4%	+6	502	27.5%	+211	+72.5%
融資保証金詐欺	1	0.3%	±0	10	0.5%	+5	+100.0%
金融商品詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	-15	-100.0%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	±0	1	0.1%	-1	-50.0%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	±0	-
その他の特殊詐欺	9	3.1%	-2	32	1.8%	+31	+3,100.0%
キャッシュカード詐欺盗	19	6.6%	+7	169	9.2%	-49	-22.5%
合計	290	100.0%	+31	1,828	100.0%	+203	+12.5%

※ 預貯金詐欺とは、親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る(脅し取る)ものをいう

※ SNS型投資詐欺については、特殊詐欺とは別類型の詐欺とされたことから、金融商品詐欺に計上されていた本年分を除外した。

(2) 類型別被害金額

	7月(単月)			7月末(累月)			
	被害金額	割合	前月比	被害金額	割合	前年比	増減率
オレオレ詐欺	632,926,437	64.8%	+329,816,107	3,000,288,577	53.3%	+1,174,142,297	+64.3%
預貯金詐欺	34,474,000	3.5%	-3,181,000	232,030,000	4.1%	-145,650,000	-38.6%
架空料金請求詐欺	153,040,880	15.7%	-73,995,730	1,015,913,834	18.0%	-454,818,611	-30.9%
(サポート詐欺)	(7,120,000)	(0.7%)	(+2,070,000)	(52,583,000)	(0.9%)	(-75,339,270)	(-58.9%)
還付金詐欺	116,739,179	12.0%	-17,746,549	1,051,820,449	18.7%	+667,683,675	+173.8%
融資保証金詐欺	150,000	0.0%	-140,880	13,783,304	0.2%	+7,000,765	+103.2%
金融商品詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	-210,996,773	-100.0%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	±0	28,940,000	0.5%	+16,617,307	+134.9%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	±0	-
その他の特殊詐欺	19,472,670	2.0%	-1,234,649	93,428,402	1.7%	+83,562,252	+847.0%
キャッシュカード詐欺盗	19,190,000	2.0%	+6,191,000	195,737,000	3.5%	-65,130,000	-25.0%
合計	975,993,166	100.0%	+239,708,299	5,631,941,566	100.0%	+1,072,410,912	+23.5%

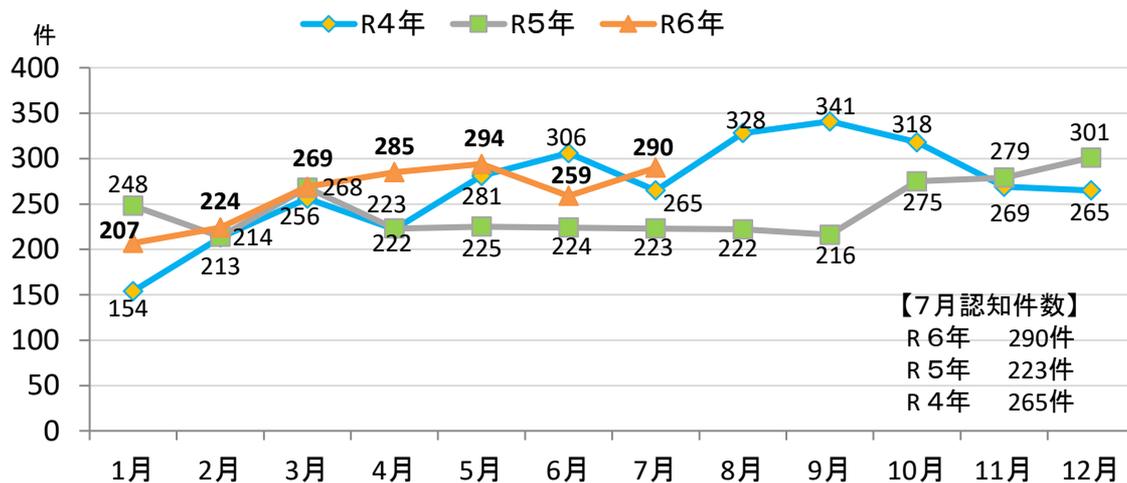
※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む

(3) 被害者(年代別・男女別)

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年 (7月末)	男性	30	25	38	45	173	183	134	
割合	4.6%		3.9%	5.9%	6.9%	26.7%	28.2%	20.7%	3.1%	100.0%	
女性	25		24	28	55	159	303	513	73	1,180	64.6%
割合	2.1%		2.0%	2.4%	4.7%	13.5%	25.7%	43.5%	6.2%	100.0%	
合計	55		49	66	100	332	486	647	93	1,828	
割合	3.0%		2.7%	3.6%	5.5%	18.2%	26.6%	35.4%	5.1%	100.0%	
前年比	+35	+33	+35	+35	+177	+69	-180	±0	+204		
R5年 (7月末)	男性	6	5	14	32	66	115	149	22	409	25.2%
	割合	1.5%	1.2%	3.4%	7.8%	16.1%	28.1%	36.4%	5.4%	100.0%	
	女性	14	11	17	33	89	302	678	71	1,215	74.8%
	割合	1.2%	0.9%	1.4%	2.7%	7.3%	24.9%	55.8%	5.8%	100.0%	
	合計	20	16	31	65	155	417	827	93	1,624	
	割合	1.2%	1.0%	1.9%	4.0%	9.5%	25.7%	50.9%	5.7%	100.0%	

○ 被害者は、70代以上が約67%、男女別では女性が約65%である。

(4) 認知件数の月別推移



(5) 類型別高額被害(1,000万円以上、7月末現在)

	7月末(累月)			
	件数	前年比	被害額	前年比
オレオレ詐欺	70	+41	1,751,676,867	+753,446,867
預貯金詐欺	2	+1	22,447,000	+12,447,000
架空料金請求詐欺	23	-1	838,486,580	-456,953,694
還付金詐欺	12	+12	184,406,271	+184,406,271
融資保証金詐欺	1	+1	10,210,469	+10,210,469
金融商品詐欺	0	-4	0	-198,753,793
ギャンブル詐欺	1	±0	28,940,000	+18,650,000
交際あっせん詐欺	0	±0	0	±0
その他の特殊詐欺	1	+1	36,989,281	+36,989,281
キャッシュカード詐欺盗	0	±0	0	±0
合計	110	+51	2,873,156,468	+360,442,401

○ 1,000万円以上の高額被害 ~ 110件、合計約28億7,316万円(7月末累計) 特殊詐欺総被害額の約51%を占める。

3 検挙状況(7月末現在)

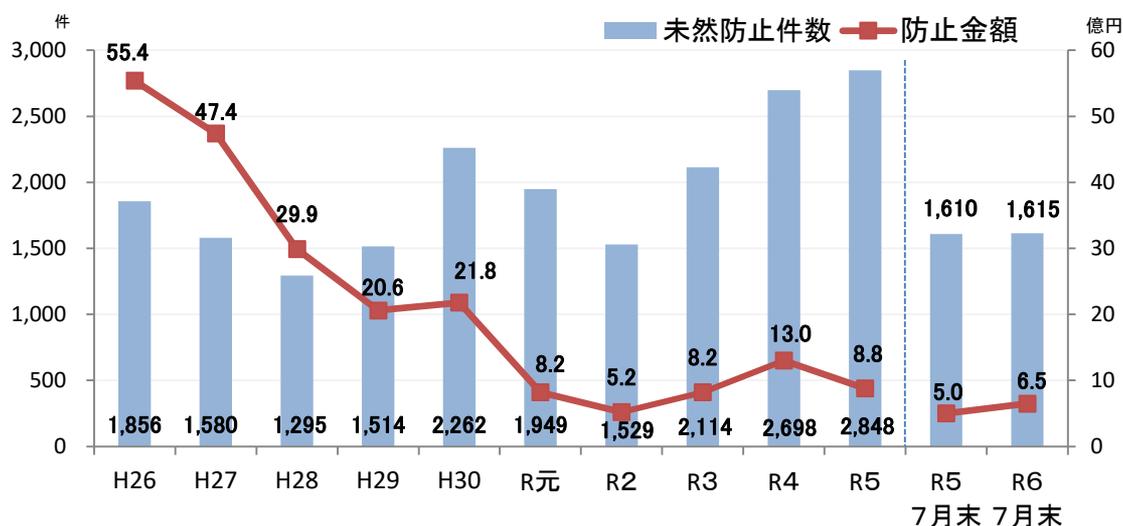
特殊詐欺全体の検挙件数及び検挙人員

検挙件数 1,179件 (前年比 -345件、-22.6%)
 (内 現場設定検挙 28件 (前年比 -18件、-39.1%))
 検挙人員 354人 (前年比 -66人、-15.7%)
 (内 現場設定検挙 27人 (前年比 -17人、-38.6%))

4 未然防止の状況

(1) 全体の未然防止状況

未然防止の推移(過去10年)



※ 未然防止件数及び被害防止金額 ～ 1,615件、合計 約6億5,090万円(7月末累計)

(2) 職種別の未然防止状況

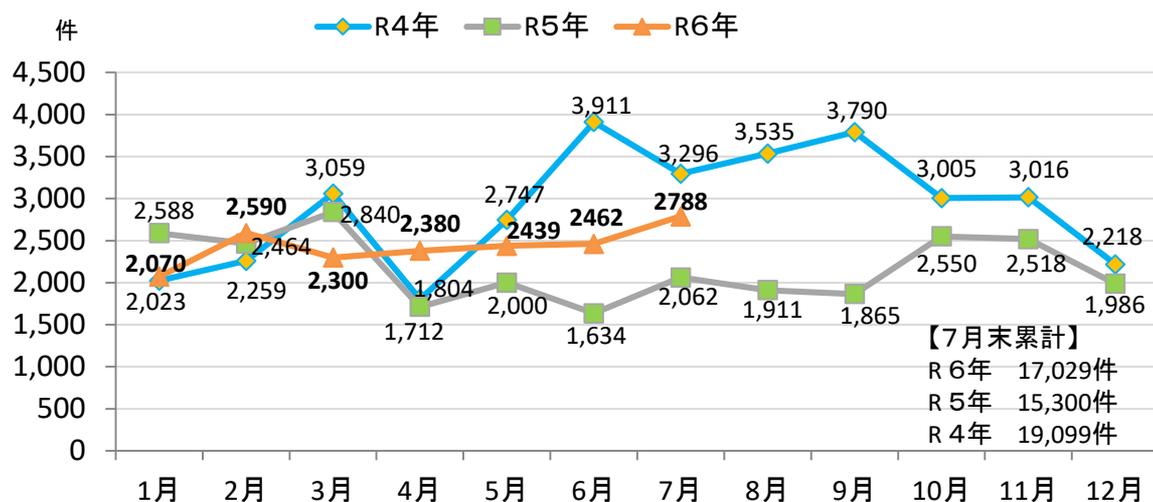
	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R6年(7月末)	377	62	79	827	7	13	5	2	52	191	1,615
割合	23.3%	3.8%	4.9%	51.2%	0.4%	0.8%	0.3%	0.1%	3.2%	11.8%	100.0%
前年比	+86	-9	-54	-70	+2	-6	+1	-1	+23	+33	+5
増減率	+29.6%	-12.7%	-40.6%	-7.8%	+40.0%	-31.6%	+25.0%	-33.3%	+79.3%	+20.9%	+0.3%
R5年(7月末)	291	71	133	897	5	19	4	3	29	158	1,610

○ コンビニと金融機関による未然防止が、全体の約75%を占めている。

※ 業務外の一般人とは、ATM利用者や友人、知人等を示す。

5 犯行予兆電話の状況

(1) 月別の通報状況(R4年～R6年7月末)



(2) 欺罔者別の状況

	区役所	警察官	百貨店 家電量販店	親族	金融機関	その他 不明	合計
R6年(7月末)	6,817	2,523	447	2,247	179	4,816	17,029
割合	40.0%	14.8%	2.6%	13.2%	1.1%	28.3%	100.0%
前年比	+965	+104	-295	-1,871	-465	+3,291	+1,729
増減率	+16.5%	+4.3%	-39.8%	-45.4%	-72.2%	+215.8%	+11.3%
R5年(7月末)	5,852	2,419	742	4,118	644	1,525	15,300
割合	38.2%	15.8%	4.8%	26.9%	4.2%	10.0%	100.0%

※ 最初に騙った職業を計上

6 都民に対する注意喚起

警察官や検察官を装い、「あなた名義の銀行口座が犯罪に使われ、あなたは事件の容疑者となっている。」等と言って、逮捕されないための保釈金や銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませる等して、現金等をだまし取る被害が増加しています。

○ 携帯電話に多くかかってくる詐欺の電話です。20代から高齢者まで様々な年代で被害者が出ています。

○ 「あなた本当に警察官?」、必ず最寄りの警察署に確認を!

警視庁や他府県の警察官を名乗る電話があった場合は、相手に、「所属、担当部署、氏名、内線番号」を確認し、最寄りの警察署に必ず確認して下さい。

そのためにも、事前に自宅を管轄する警察署の電話番号を把握しておきましょう。

同様に、金融庁、検察官等からの電話があった場合も、警察署に確認しましょう。

○ 警察官が通信アプリを利用して、被害者や犯人とやりとりすることはありません!

通信アプリで、警察手帳等の身分証や逮捕状等の令状を提示することはありません。

○ 警察官や検察官が、銀行口座の調査や逮捕されないための保証金等の名目でお金を振り込ませることはありません!

ネットバンキングによる犯人口座への振込みが増えています。ネットバンキングは、限度額を自由に変更できるため、被害額が大きくなる要因となっています。

